

## 越冬期調査・2014 ～カモ類・水鳥のカウント調査～報告

越冬期における定例調査、今年も多くの方の参加を得て終了しました。ありがとうございました。準備不足で全域の調査とはなりませんでしたが、興味ある報告が多数寄せられました。今回は往時を知る人にとっては信じられないような上野・不忍池の今冬の結果を紹介します。《本年4月号の「野鳥・Tokyo」もあわせてお読みください》

### 上野・不忍池一帯でのカモのカウント結果

2013年12月25日(日) 9:30 - 13:00 しのみ自然観察会調査

No.	種名	場所	ボート池	蓮池	弁天池	動物園池	五重塔	小計	合計
1	マガモ	♂		1				1	3
		♀	1	1				2	
2	カルガモ			2				2	2
3	ヒドリガモ	♂	3					3	5
		♀	2					2	
4	オナガガモ	♂	22	58	4	1	11	96	199
		♀	34	60		3	6	103	
5	ハシビロガモ	♂		4		2		6	11
		♀		2		3		5	
6	ホシハジロ	♂	6	1	2	11		20	31
		♀	4		2	5		11	
7	キンクロハジロ	♂	177	29		77		283	374
		♀	58	5		28		91	
8	スズガモ	♂		1				1	1
計			307	164	8	130	17	626	626

上野・不忍池一帯のカモのカウント数

(単位:羽)

#### 【調査者・協力者】

[五十音順・敬称略]

伊東清隆、岩崎正義、小川 潔、加藤敦子、金子満美子、狩野一江、川井信義、川内 博・桂子、木村玲子、桑島敏寿、小林博美、佐藤英夫・栄美子、新保宣子、谷口高司、長岡信也、西村眞一、萩原美代、林 悦子、藤田いと子、藤田淳子、真下弘、美島暁子・暁美

## 繁殖期調査 エナガ・ヤマガラ・ウグイスの繁殖の記録

### 第1報 都心部に進出したエナガ・2014年 《裏表紙もごらんください》

かつては多摩丘陵や狭山丘陵、奥多摩などに行かなければ会えなかったエナガが、いま、市街地の森や林で繁殖をはじめています。その初期の経過は、本誌2008年7月号(No.633)～2009年4月号(No.642)にかけて7回にわたって紹介しています。その舞台は“武蔵野”でした。しかし、今春調査を呼びかけているのは“都心部”での状況です。

第1報が届きましたので、今月号の裏表紙に掲載しました。小平市から文京区までの広い地域ですが、平地部の森で、1シーズンで巣材集めから営巣、巣立ちまで観察できたことがまず驚きです。それだけ身近に来ているということになります。

報告者の川内 博さんの話では今年都心部で繁殖(営巣や巣立ちビナ連れ)を確認したのは明治神宮・新宿御苑・小石川植物園の3か所で、自然教育園・皇居東御苑・六義園・小石川後楽園・代々木公園等では調査したが、繁殖期には生息を認めなかったとの事です。[皇居では2012年に繁殖したことが最近判りました]

報告方法 手紙: 〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階

Fax: 03-5273-5142 E-mail: office@yacho-tokyo.org 日本野鳥の会東京・研究部あて